



2022年3月18日

各 位

会社名 株式会社 アダストリア
代表者 代表取締役会長 福田 三千男
(コード番号 2685 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員 岩越 逸郎
経営企画室長
(TEL: 03-5466-2060)

2022年2月期通期連結業績予想の修正および通期個別業績予想、 並びに配当予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月18日開催の取締役会において、2021年4月5日に公表した2022年2月期の連結業績予想および配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正 (2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 219,000	百万円 6,500	百万円 6,500	百万円 3,800	円 銭 84.14
今回発表予想 (B)	201,500	6,500	8,100	4,900	108.34
増減額 (B-A)	△17,500	0	1,600	1,100	24.20
増減率 (%)	△8.0%	0%	24.6%	28.9%	28.8%
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	183,870	766	2,981	△693	△14.88

(注) 業績の予想に関する注意事項 上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

2. 通期連結業績予想の修正の理由

前回予想を公表した2021年4月5日時点においては、2022年2月期上期には新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの緩やかに収束し、下期にかけて経済が正常化していく前提で見通しを策定しました。しかしながら、2022年2月期上期はほぼ全期間に渡って緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が発出され、下期に入っても新型コロナウイルス感染拡大により店舗の来店客数が大きく減少する等、不透明な事業環境が年間を通して継続しました。上記の状況の中、売上高については前回予想を下回る見込みとなりました。

しかしながら、利益面においては効率的な在庫管理と値引販売の抑制による売上総利益率の確保や、販売管理費等の抑制が寄与し、営業利益は想定と同等の水準となる見込みです。また経常利益については、営業外収益として助成金等を受給したことも寄与し、前回予想を上回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する

当期純利益についても、特別損失として店舗関連の減損損失等を計上したものの、経常利益の増加が寄与し、想定を上回る見込みとなりました。

3. 通期個別業績予想と前期実績の差異発生見込（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 160,940	百万円 1,521	百万円 2,775	百万円 △527	円 銭 △11.32
当期予想（B）	174,000	5,500	6,600	4,400	97.28
増減額（B－A）	13,059	3,978	3,825	4,927	108.60
増減率（％）	8.1%	261.4%	137.8%	-	

4. 通期個別業績予想と前期実績の差異見込みの理由

2022年2月期は、前述の通り新型コロナウイルス感染症の影響が残ったものの、前期との比較においては店舗の営業状況が改善したこと、またECの売上が順調に伸長したことから、通期個別業績は前期実績との差異が発生する見込みとなりました。

5. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
（前回予想）2022年2月期	—	25.00	50.00
今回修正予想	—	30.00	55.00
当期実績	25.00	—	—
（前期実績）2021年2月期	15.00	25.00	40.00

6. 配当予想修正の理由

当社では、株主の皆様への還元として、配当はのれん償却前連結配当性向30%を基本方針に実施しております。前回予想を公表した2021年4月5日時点においては、配当の安定性、投資と還元のバランスを考慮し、2022年2月期の配当予想を1株につき50円（連結配当性向59.4%）と決定いたしました。

上記の通り通期の連結当期純利益予想を上方修正することに伴い、当期の期末配当予想につきましては、1株につき30円にさせていただきます。これにより、年間配当は1株につき55円（連結配当性向50%）となる見込みです。

以上